

## 2017年度心理臨床センター活動報告

### 1. 開室状況

開室日数は269日（月平均22.4日）、勤務のべ人数は1223人（月平均101.9人）だった。

### 2. 電話対応状況

電話対応の内訳は Table 1のとおりだった。

Table 1 電話対応の内訳

月	新規 申込	継続 予約	中止・ 変更	紹介	その 他	合計
4月	4	5	4	0	12	25
5月	13	5	14	1	16	49
6月	17	11	13	0	24	65
7月	5	6	15	0	21	47
8月	18	7	17	0	13	55
9月	3	4	14	0	26	47
10月	5	7	10	0	16	38
11月	12	5	5	1	23	46
12月	2	10	8	0	10	30
1月	4	4	12	0	12	32
2月	3	5	8	0	7	23
3月	5	7	10	0	19	41
合計	91	76	130	2	199	498
月平均	7.6	6.3	10.8	0.2	16.6	41.5

### 3. 相談件数

年間の相談受理件数は117件だった。年間のべ635件の相談（月平均52.9件）を受理した。各月における面接形態の内訳は Table 2のとおりだった。なお、2017年度に実施した心理検査は Table 3のとおりであった。

Table 2 相談の内訳

月	初回 面接	心理 相談	並行 面接	心理 査定	その 他	合計
4月	6	27	1	0	0	34
5月	6	32	2	0	0	40
6月	4	34	1	1	0	40
7月	15	39	1	2	0	57
8月	2	74	0	2	0	78
9月	15	49	1	0	0	65
10月	1	49	1	2	0	53
11月	11	40	1	1	0	53
12月	2	43	1	0	0	46
1月	4	24	1	32	0	61
2月	5	40	0	1	0	46
3月	3	59	0	0	0	62
合計	74	510	10	41	0	635
月平均	6.2	42.5	0.8	3.4	0.0	52.9

Table 3 2017年度に実施した心理検査

検査名		実施数
AAQ-II:	Acceptance and Action Questionnaire-II	54
ADIS:	Anxiety Disorders Interview Schedule for DSM-IV	43
AFQ-Y:	Avoidance and Fusion Questionnaire for Youth	32
AQ:	Autism-Spectrum Quotient	4
アサーション度チェックリスト		1
BDI-II:	The Beck Depression Inventory-II	35
CABS:	Children's Avoidance Behavior Scale	42
CCES:	Children's Cognitive Error Scale	2
CDI:	Children's Depression Inventory	9
CES-D:	The Center for Epidemiologic Studies Depression Scale	18
CFQ:	Cognitive Fusion Questionnaire	44
CISS:	Coping Inventory for Stressful Situations	2
CONNERS 3日本語版		1
CPAS:	Children's Pleasant Activity Scale	42
CSSS:	Children's Self-Statement Scale	1
DSRS-C:	Depression Self-Rating Scale for Children	46
FFMQ:	The Five Facet Mindfulness Questionnaire	4
FIT:	Family Image Test	1
GHQ30:	The General Health Questionnaire	42
IBS-SI:	Irritable-Bowel-Syndrome Severity Index	32
J-ZBI 8:	Zarit 介護負担尺度日本語版の短縮版	95
LDI-R	Learning Disabilities Inventory-Revised	1
LSAS-J:	Liebowitz Social Anxiety Scale 日本語版	12
MAAS :	Mindful Attention Awareness Scale	1
M.I.N.I.:	Mini-International Neuropsychiatric Interview	9
認知症に関する知識尺度		12
OQ-45.2:	Outcome Questionnaire	9
PARS:	Pervasive Developmental Disorders Autism Society Japan Rating Scale	7
PedsQL:	Pediatric Quality of Life Inventory	32
PVQ-II:	Personal Values Questionnaire II	1
QIDS-J:	Quick Inventory of Depressive Symptomatology	1
QOL26:	WHO QOL26	78
QPGS-R III:	Questionnaire on Pediatric Gastrointestinal Symptoms-Rome-III	7
Rorschach Test		50
労働者の疲労蓄積度自己診断チェックリスト		1
RRQ:	Rumination Reflection Questionnaire	2
SADS:	Social Anxiety Disorder Scale	18
SCAS:	Spence Children's Anxiety Scale	52
SCAS-P:	Parent Version of the Spence Children's Anxiety Scale	46
SDQ:	The Strengths and Difficulties Questionnaire	44
SDQ-P:	The Strengths and Difficulties Questionnaire for Parents	46
SIBSQ:	Self-reported IBS Questionnaire	32
新版 STAI:	State-Trait Anxiety Inventory-JYZ	8
VQ:	日本語版 Valuing Questionnaire	14
WAIS-III :	Wechsler Adult Intelligence Scale-III	1
WISC-IV:	Wechsler Intelligence Scale for Children-IV	3
全検査合計		1037

#### 4. 相談者内訳

相談者の内訳は Figure 1-3のとおりだった。

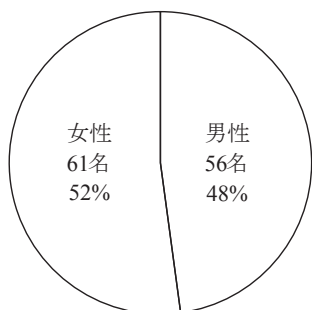


Figure 1 相談者の男女比

#### 5. 主訴内訳

主訴の内訳は Table 4のとおりだった。

Table 4 主訴の内訳 (件数)

子どもの発達・不安	74
介護	23
うつ・不安	7
心身症	7
対人関係	2
家族関係	2
勤務問題	1
その他	1
合計	117

#### 6. 来所経緯

相談者が本学心理臨床センターを知った経緯は Table 5のとおりだった。

Table 5 来談経緯 (件数)

学校より紹介	54
新聞広告	33
知人より紹介	7
ホームページ	5
病院より紹介	4
パンフレット	2
その他	15
合計	120

(複数回答)

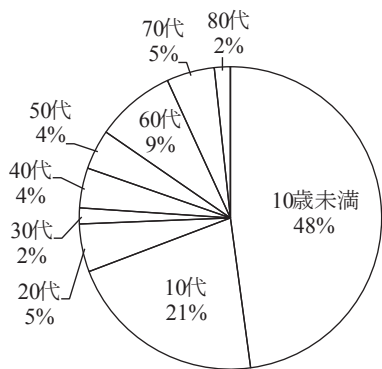


Figure 2 相談者の年齢層

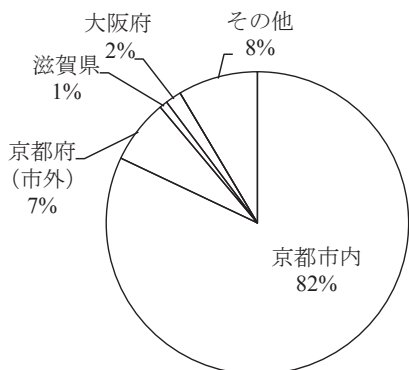


Figure 3 相談者の居住地域

## 7. 特別プログラム実施状況

2017年度には5つの特別プログラムが実施され (Table 6), 相談研修員が臨床と研究を学ぶ機会となった。

Table 6 2017年度実施特別プログラム

プログラム	面接数 <sup>注1)</sup>
子どもの不安と抑うつ改善プログラム： にげチャレ教室	154
認知症の介護ストレスケアプログラム： しなやかケア教室	95
中高生のための IBS 改善プログラム： あんなか教室	32
子どもの不安改善プログラム： いっちょが教室	13
自閉症スペクトラム児の不安改善プログラム： てくてく教室	2
合計	296

注1) 面接数は初回, 継続, 査定の合計を指す

## 8. 実習実績

博士課程前期課程13名の相談研修員が在籍し, 本学心理臨床センター内における臨床実習の総時間は384.0時間, 一人あたりの平均実習時間は29.5時間だった (スーパーバイズに必要な時間を含まない)。実習形態は Table 7 のとおりだった。

Table 7 学内実習形態の内訳

面接担当 <sup>注1)</sup>	101.0
面接陪席 <sup>注2)</sup>	243.0
プレイ	3.0
検査	7.0
受付	12.0
その他	18.0
合計	384.0

注1) ケースでの主担当を指す

注2) 面接室での同席, あるいはカメラシステムを介した観察を指す

## 9. 広報活動

「英語による心理相談」チラシ設置 (京都市国際交流協会メッセージボックス, 10月1日-3月31日)

「英語による心理相談」チラシ設置 (京都府国際センター, 10月1日-3月31日)

「中高生のための IBS 改善プログラム：あんなか教室」広告掲載 (京都リビング, 5月13日, 8月5日)

「子どもの不安と抑うつ改善プログラム：にげチャレ教室」広告掲載 (京都リビング, 6月17日)

「認知症の介護ストレスケアプログラム：しなやかケア教室」広告掲載 (京都リビング, 8月26日)

## 10. 心理臨床センター委員会

第1回

日時 2018年3月1日 (木)

12:00-12:30

場所 彰栄館2階 会議室

出席者 神山 貴弥 (センター長), 武藤 崇 (副センター長), 北川 雅章 (学生支援機構長), 植木 朝子 (教育支援機構長), 谷本 高彦 (総務部長), 中谷 隆志 (心理学部・心理学研究科事務室事務長, 以下事務長と記載)

## 11. 心理臨床センター運営委員会

第1回

日時 2017年4月19日 (水)

13:00-14:00

場所 継志館 心理臨床センター研修室

出席者 藤岡 勲, 石川 信一, 武藤 崇 (副センター長), 興津 真理子, 杉若 弘子, 堀江 幸代, 梅澤 友香里

2017年度心理臨床センター活動報告

第2回

日 時 2017年5月17日 (水)  
13:00-14:30  
場 所 継志館 心理臨床センター研修室  
出席者 藤岡 勲, 石川 信一, 武藤 崇 (副  
センター長), 興津 真理子, 杉若  
弘子, 堀江 幸代, 梅澤 友香里,  
中谷 隆志 (事務長)

13:00-13:25  
場 所 継志館 心理臨床センター研修室  
出席者 藤岡 勲, 石川 信一, 武藤 崇 (副  
センター長), 興津 真理子, 杉若  
弘子, 堀江 幸代, 梅澤 友香里,  
中谷 隆志 (事務長)

第3回

日 時 2017年5月31日 (水)  
13:00-15:20  
場 所 継志館 心理臨床センター研修室  
出席者 藤岡 勲, 石川 信一, 武藤 崇 (副  
センター長), 興津 真理子, 杉若  
弘子, 堀江 幸代, 梅澤 友香里

第8回

日 時 2017年10月4日 (水)  
13:00-14:25  
場 所 継志館 心理臨床センター研修室  
出席者 藤岡 勲, 石川 信一, 武藤 崇 (副  
センター長), 興津 真理子, 佐藤  
豪, 杉若 弘子, 堀江 幸代, 梅澤  
友香里, 中谷 隆志 (事務長)  
陪席者 神山 貴弥 (センター長)

第4回

日 時 2017年6月14日 (水)  
12:55-13:15  
場 所 継志館 心理臨床センター研修室  
出席者 藤岡 勲, 石川 信一, 武藤 崇 (副  
センター長), 興津 真理子, 杉若  
弘子, 堀江 幸代, 梅澤 友香里,  
中谷 隆志 (事務長)

第9回

日 時 2017年10月25日 (水)  
13:00-14:30  
場 所 継志館 心理臨床センター研修室  
出席者 藤岡 勲, 石川 信一, 武藤 崇 (副  
センター長), 興津 真理子, 杉若  
弘子, 堀江 幸代, 梅澤 友香里,  
中谷 隆志 (事務長)

第5回

日 時 2017年6月28日 (水)  
13:00-13:55  
場 所 継志館 心理臨床センター研修室  
出席者 藤岡 勲, 石川 信一, 武藤 崇 (副  
センター長), 興津 真理子, 杉若  
弘子, 堀江 幸代, 梅澤 友香里,  
中谷 隆志 (事務長)

第10回

日 時 2017年11月15日 (水)  
13:00-14:25  
場 所 継志館 心理臨床センター研修室  
出席者 藤岡 勲, 武藤 崇 (副センター長),  
興津 真理子, 杉若 弘子, 堀江  
幸代, 梅澤 友香里, 中谷 隆志 (事  
務長)

第6回

日 時 2017年7月12日 (水)  
13:00-13:55  
場 所 継志館 心理臨床センター研修室  
出席者 藤岡 勲, 石川 信一, 武藤 崇 (副  
センター長), 興津 真理子, 杉若  
弘子, 堀江 幸代, 梅澤 友香里,  
中谷 隆志 (事務長)

第11回

日 時 2017年12月13日 (水)  
13:00-14:45  
場 所 継志館 心理臨床センター研修室  
出席者 藤岡 勲, 石川 信一, 武藤 崇 (副  
センター長), 興津 真理子, 杉若  
弘子, 堀江 幸代, 梅澤 友香里,  
中谷 隆志 (事務長)

第7回

日 時 2017年7月26日 (水)

第12回

日 時 2017年12月20日 (水)

13:00-14:15

場所 継志館 心理臨床センター研修室  
出席者 藤岡 勲, 石川 信一, 武藤 崇 (副  
センター長), 興津 真理子, 杉若  
弘子, 堀江 幸代, 梅澤 友香里,  
中谷 隆志 (事務長)

#### 第13回

日時 2018年1月10日 (水)

13:00-14:20

場所 継志館 心理臨床センター研修室  
出席者 藤岡 勲, 石川 信一, 武藤 崇 (副  
センター長), 興津 真理子, 杉若  
弘子, 堀江 幸代, 梅澤 友香里,  
中谷 隆志 (事務長)

## 12. 研究活動

### 刊行物 (著書・論文等)

荒井 穂菜美・青木 俊太郎・石川 信一・坂野  
雄二 不安のコントロール感が社交不安症  
状におよぼす影響——三つのタイプの安全  
確保行動を媒介変数として—— 行動療法  
研究, 43, 127-135.

荒井 穂菜美・松尾 雅博・石川 信一 思春期  
精神科外来での認知行動療法——面接構造  
の柔軟性をいかした事例—— 精神療法,  
43, 707-722.

土井 理美・坂野 朝子・武藤 崇・坂野 雄二  
日本語版 Valuing Questionnaire (VQ)  
の信頼性と妥当性の検証 行動療法研究,  
43, 83-94.

藤岡 勲 複数の人種的背景を持つ人々を対象  
とした臨床的事例研究の展望 心理臨床科  
学, 7, 35-48.

藤岡 勲 産業/組織/労働と文化との関係を  
扱った心理学的研究の展望——計量テキス  
ト分析を活用した傾向の把握—— 同志社  
心理, No.64, 24-36.

橋口 知輝・武藤 崇 更年期症状に対する認  
知・行動療法の展望 心理臨床科学, 7,  
49-58.

早樫 一男 支援者支援のアセスメントとして  
のジェノグラムとエコマップの使い方 家  
族心理学年報, 35, 109-118.

早樫 一男 乳幼児を抱える家族支援の現状  
——児童相談所や児童福祉現場の現状を中  
心に—— 家族療法研究, 34, 31-34.

石川 信一 子どもの心の問題とレジリエンス  
臨床心理学, 17, 607-612.

石川 信一 認知行動療法による支援 児童心理,  
1048, 120-125.

石川 信一 日本における子どもの不安症に対  
する認知行動療法 不安症研究, 9, 57-64.

石川 信一 学校臨床の現場から こころの科学,  
196, 46-50.

石川 信一 イラストでわかる子どもの認知行  
動療法——困ったときの解決スキル36——  
合同出版

石川 信一 不安・うつへの支援 藤野 博・東  
條 吉邦 (編) 自閉スペクトラムの発達  
科学——発達科学ハンドブック10——  
(pp.230-240) 新曜社

伊藤 雅隆・武藤 崇 過敏性腸症候群の症状を  
呈する大学生への1日集団ワークショップ  
形式でのアクセプタンス&コミットメン  
ト・セラピーを用いた介入の検討——無作  
為割り付け待機群比較試験を用いた検討  
—— 対人援助学研究, 7, 1-11.

菊田 和代・石川 信一 認知行動療法プログラ  
ムの柔軟な適用——エクスポージャーに協  
働関係をいかした事例—— 精神療法, 43,  
549-557.

岸田 広平・石川 信一 児童における回避行動  
の頻度と機能に関する検討 心理臨床科学,  
7, 3-16.

松原 耕平・福満 恵里子・佐藤 寛・石川 信  
一・佐藤 正二 小学校におけるユニバー  
サル予防プログラムの維持効果——中学校  
進学後のフォローアップ—— 認知療法研  
究, 10, 181-193.

武藤 崇 「等身大」のマインドフルネス——  
慢性疼痛に対する効果—— 慢性疼痛, 36,

33-37.  
武藤 崇 アクセプタンス&コミットメント・セラピー (ACT) の無作為化比較試験の研究動向 (1986-2017年) 心理臨床科学, 7, 29-34.

武藤 崇 ACT (Acceptance and Commitment Therapy) 臨床心理学, 17, 442-443.

中西 陽・石川 信一 中学生の社会的スキル, 同性・異性友人からのソーシャル・サポート, 精神的健康の関連——学級集団 SST 実施による検討——同志社心理, No.64, 15-23.

西尾 悠佑・竹田 達生・乳原 彩香・濱田 愛理・上原 裕仁・石川 信一 大学生の先延ばしに対する介入効果の検討——無作為割り付けによる心理指標および行動指標を用いた両側面からの検討——認知療法研究, 10, 194-201.

野中 俊介・岡島 純子・三宅 篤子・小原 由香・荻野 和雄・原口 英之・山口 穂菜美・石飛 信・高橋 秀俊・石川 信一・神尾 陽子 自閉スペクトラム症児童の不安に対する集団認知行動療法プログラムの開発——実施可能性に関する予備的検討——児童青年医学とその近接領域, 58, 261-277.

茂本 由紀・武藤 崇 漢字迷路課題の改良と妥当性の検討——関係フレーム反応と抑うつの反すうの測定——認知行動療法研究, 44, 1-12.

杉若 弘子 心理検査で測るセルフ・コントロール 高橋 雅治 (編) セルフ・コントロールの心理学——自己制御の基礎と教育・医療・矯正への応用—— (pp.66-81) 北大路書房

武部 匡也・岸田 広平・佐藤 美幸・高橋 史・佐藤 寛 子ども用怒り感情尺度の作成と信頼性・妥当性の検討 行動療法研究, 43, 169-179.

田中 佑樹・田邊 泰子・井上 敦子・佐藤 寛・石川 信一・嶋田 洋徳 バディシステムを

取り入れたキャンプ活動の適用による不登校児童生徒の心理的变化 ストレス科学研究, 31, 31-40.

上田 有果里・小宅 由朗・青木 治亮・石川 信一 精神科病院での認知行動療法——本人の自己効力感向上に焦点を当てた事例——精神療法, 43, 857-864.

八谷 勇斗・中西 陽・石川 信一 中学生に対する社会的問題解決訓練が抑うつに与える影響と媒介変数の検討 心理臨床科学, 7, 17-28.

### 学会活動

阿部 望・岸田 広平・石川 信一 子ども用強み注目尺度作成の試み (日本心理学会第81回大会, 久留米大学・久留米シティプラザ, ポスター発表, 9月21日)

藤井 彩・上西 祐輝・上田 亜希子・宮内 拓史・高尾 奈那・吉内 佐和子・佐藤 豪・木村 穰 心疾患患者における自我状態とタイプDパーソナリティの関連の検討 (第23回日本心臓リハビリテーション学会学術集会, 口演発表, 長良川国際会議場, 7月15日)

藤岡 勲 外国人の増減にともない国際結婚も増減するのか——日本全国・東京都区部・名古屋市・大阪市の1996~2015年統計データによる検討—— (第90回日本社会学会大会, 口頭発表, 11月4日)

福住 紀明・石井 僚・石川 信一・村上 達也・村山 航・大谷 和大・榊 美知子・鈴木 高志・田中 あゆみ 親による子どもの基本的心理欲求充足の認知について (日本心理学会第81回大会, 久留米シティプラザ, ポスター発表, 9月21日)

福住 紀明・村山 航・石井 僚・石川 信一・村上 達也・大谷 和大・榊 美知子・鈴木 高志・田中 あゆみ 親による子どもの動機づけの質の認知の正確さについて (日本教育心理学会第59回総会, 名古屋国際会議場, ポスター発表, 10月8日)



橋本 光平・武藤 崇 加齢ステレオタイプへの行動的同化における認知的フュージョンの調整効果 (日本老年行動科学会, 東京, 口頭発表, 11月26日)

石井 僚・福住 紀明・石川 信一・村上 達也・村山 航・大谷 和夫・榎 美知子・鈴木 高志・田中 あゆみ 中学生の時間的展望と抑うつとの関係 (日本心理学会第81回大会, 久留米シティプラザ, ポスター発表, 9月21日)

Ishii, R., Fukuzumi, N., Ishikawa, S., Murakami, T., Murayama, K., Ohtani, K., Sakaki, M., Suzuki, T., & Tanaka, A. Does time perspective predict anxiety symptoms of junior high school students? (3rd International Congress of Clinical and Health Psychology on Children and Adolescents, Seville, ポスター発表, 11月17日)

石井 僚・村山 航・福住 紀明・石川 信一・村上 達也・大谷 和夫・榎 美知子・鈴木 高志・田中 あゆみ 親子の時間的展望ほどの程度類似するののか——中学生とその親を対象とした横断的検討—— (日本教育心理学会第59回総会, 名古屋国際会議場, ポスター発表, 10月8日)

Ishikawa, S., Takeno, Y., Sato, Y., Kishida, K., Yatagai, Y., & Spence, S. H. Psychometric properties of the Spence Child Anxiety Scale with adolescents in Japan. (The 51th Association for Behavioral and Cognitive Therapies, San Diego, ポスター発表, 11月17日)

Ito M., & Muto, T. Evaluating the effectiveness of one-day group Acceptance and Commitment Therapy workshop for non-patient irritable bowel syndrome: A pilot randomized controlled trial. (Association

for Contextual Behavioral Science World Conference 15, Seville, ポスター発表, 6月21日)

伊藤 雅隆・武藤 崇 過敏性腸症候群の症状を持つ大学生に対する1日集団アクセプタンス&コミットメント・セラピーの効果の検討——無作為化比較試験を用いた予備的検討—— (日本認知・行動療法学会第43回大会, 朱鷺メッセ, ポスター発表, 9月29日)

Kishida, K., & Ishikawa, S. U-shaped association among sleep duration, depression and anxiety symptoms in Japanese adolescents. (12th International Conference on Child and Adolescent Psychopathology, London, ポスター発表, 7月17日)

岸田 広平・石川 信一 中学生のメンタルヘルスに対する学校ベースの認知行動療法 (日本心理学会第81回大会, 久留米大学・久留米シティプラザ, ポスター発表, 9月21日)

岸田 広平・石川 信一 青年期の不安に対する認知行動療法プログラムの怒りに対する適用可能性——イライラを主訴とする中学生に対する予備的検討—— (日本認知・行動療法学会第43回大会, 朱鷺メッセ・新潟コンベンションセンター, ポスター発表, 9月29日)

Kishida, K., & Ishikawa, S. A transdiagnostic behavioral activation model for depressive and anxiety symptoms in Japanese children. (The 51th Association for Behavioral and Cognitive Therapies, San Diego, ポスター発表, 11月17日)

岸田 広平・石川 信一 児童青年の不安症と抑うつ障害に対する診断横断的介入——回避行動に焦点化した短期プログラムの予備的試験—— (第10回日本不安症学会学術大会, 早稲田大学東伏見キャンパス, ポスター発表, 3月16日)

岸田 広平・西尾 悠佑・阿部 望・乳原 彩香・



石川 信一 子ども用快活動尺度の作成および不安症状と抑うつ症状との関連の検討（第17回日本認知療法・認知行動療法学会、京王プラザホテル、ポスター発表、7月21日）  
橋口 知輝・石川 信一・武藤 崇 抑うつに注目したルールによる環境内の随伴性に対する感受性低下についての研究（日本認知・行動療法学会第43回大会、朱鷺メッセ、ポスター発表、9月）

Muto, T. How to implement “treatment-evaluation” using single-case designs (SCDs): Some new technical and practical innovations. (ACBS World Conference 15th, Seville, Spain, 6月25日)

武藤 崇 家族介護者から考える「認知症問題」とその改善—— ACT と PBS による統合的な行動分析的アプローチ——（日本認知・行動療法学会第43回大会、シンポジウム話題提供、9月29日）

武藤 崇 高齢者のための「新世代」の認知行動療法——入門編——（日本老年行動科学会第20回全国大会、ワークショップ話題提供、11月26日）

中川 彩華・馬場 天信・興津 真理子 幼少期の愛着体験や家族機能と現在の対人関係の関連——同性親との愛着体験に注目して——（日本心理臨床学会第36回大会、11月19日）

中西 陽・石川 信一 中学生に対する3年間の継続的なソーシャルスキル教育の効果（日本認知・行動療法学会第43回大会、朱鷺メッセ、ポスター発表、9月29日）

興津 真理子・三島 順子 「食に求める価値」に関する研究（2）——性別・家族形態との関連——（日本心理学会第81回大会、9月21日）

興津 真理子・三島 順子 家族での共食経験と自己分化との関連（関西心理学会第129回大会、11月5日）

興津 真理子・竹原 卓真 シンポジウム「感情心理学の基礎と応用を結ぶ」企画者（日本

感情心理学会第25回大会、6月25日）

茂本 由紀・武藤 崇 抑うつの反すうと行動の柔軟性に対する脱フュージョンの効果——漢字迷路課題を指標とした測定——（日本認知・行動療法学会第43回大会、朱鷺メッセ、ポスター発表、9月29日）

杉若 弘子 統合失調症の認知行動療法——SST や認知療法の有用性——（日本認知・行動療法学会第43回大会、教育講演（座長）、9月）

乳原 彩香・岸田 広平・石川 信一 青年期における睡眠に関する非機能的な認知が不安症状に及ぼす影響の検討（第10回日本不安症学会学術大会、早稲田大学東伏見キャンパス、ポスター発表、3月16日）

### 研究会活動

早樫 一男・古川 秀明・興津 真理子 現任者のための家族援助研修会 京都家族造形研究会（5月12日、6月9日、7月14日、8月18日、9月8日、10月13日、11月10日、12月15日）

石川 信一 児童青年認知行動療法研究会 特別講演（第18回児童青年認知行動療法研究会、同志社大学、4月3日）

武藤 崇 事例から考える ACT ——超高齢化社会に対応した支援に向けて——（ACT Japan 2017年度・年次ミーティング、3月4日）

興津 真理子 故人との関係および自分の生きる意味を探るクライアントとの面接過程 HESO 研究会（事例報告、9月9日）

Sugiwaka, H. A distinction between two types of self-control: Inhibitory and initiatory control. (Behavior Analysis Seminar, Utah State University, Logan, UT, U.S.A., September)

## 13. 社会貢献

### 講演・公開講座

Fujioka, I. “History and characteristics of

- Japanese clinical/counseling psychology” (Japanese approaches to mindfulness and mental health (Antioch University), Shunkoin Temple, Lecturer, 3月20日)
- 早樫 一男 「ジェノグラムから家族関係を考える 2017」(平成29年度大阪府福祉専門職員研修兼児童福祉司任用後研修, 大阪府庁, 講師, 5月18日, 6月2日)
- 早樫 一男 「ジェノグラムを活用した家族理解と支援」(平成29年度児童虐待対応スキルアップ研修, 奈良県社会福祉総合センター, 講師, 9月15日)
- 早樫 一男 「平成29年度 児童福祉司任用前講習会及び児童福祉司任用後研修」(奈良県社会福祉総合センター, 講師, 10月2日)
- 早樫 一男 「対人援助職のためのジェノグラム入門」(平成29年度大東市児童虐待防止連絡会議関係機関向け研修会, 大東市立市民会館, 講師, 8月21日, 10月19日)
- 早樫 一男 「平成29年度第3回在宅医療推進加速化事業研修会」(富山県中新川群医師会, 上市町保健福祉総合センター, 講師, 2月17日)
- 早樫 一男 「ジェノグラムの活用と家族理解」(主任介護支援専門員フォローアップ研修, 彦根愛知犬上介護保険事業者協議会, くすのきセンター, 講師, 2月22日)
- 石川 信一 「よりよい関係をつくるコミュニケーション」(平成29年度京田辺市子どもを対象とした男女共同参画推進事業, 京田辺市立草内小学校体育館, 6月23日)
- 石川 信一 「SST を生かした学級経営」(京都府城陽市北城陽中学校研修会, 京都府城陽市北城陽中学校図書室, 8月28日)
- 石川 信一 「認知行動療法の基礎」「学校で生かせる心理教育」「心理教育の実際」(京都府総合教育センター研修講座「教育相談<中級>講座Ⅲ——学校で生かせる心理教育【領域③】——」, 京都府総合教育センター講義室, 11月6日)
- 石川 信一 「ソーシャルスキルトレーニングの般化について」(LD等通級指導担当者専門性向上研修会, 京都市総合教育センター, 12月21日)
- 石川 信一 「子どものためのメンタルヘルス予防教育プログラム」研修会 (RISTEX 社会実装プロジェクト「子どものためのメンタルヘルス予防教育プログラム」研修会, 京都府精神保健福祉総合センター体育室, 2月21日)
- 菊田 和代 産業部会&医療関係部会コラボレーション企画 医療機関にお願いしたいこと, 会社に伝えたいこと——職場復帰復職支援における医療と産業の連携を目指して—— (大阪府臨床心理士会平成29年度合同研修会, 司会, 11月12日)
- 武藤 崇 なぜ“痛み”が心理学と関係があるの? ——慢性痛に対する適切な応用—— (WEST 研究センター・臨床心理学講座(慢性腰痛治療の「これから」——ACEとACTのコラボレーション——), 講師, 6月4日)
- 武藤 崇 吃音の改善に対するマインドフルネス系認知行動療法の可能性 (日本吃音・流暢性障害学会第5回大会招待講演, 講師, 8月20日)
- 武藤 崇 イントロダクション (WEST 研究センター・臨床心理学講座(牧会カウンセリングにおけるアクセプタンス&コミットメント・セラピー (ACT) の可能性——キリスト教と科学的心理療法との接点——), 講師, 8月27日)
- 武藤 崇 認知症なんてコワくない! (日本認知・行動療法学会第43回大会・市民公開講座, 講師, 9月30日)
- 武藤 崇 アクセプタンス&コミットメント・セラピー (ACT) (京都府精神保健福祉総合センター主催「認知行動療法セミナー」, 講師, 2月27日)
- 興津 真理子 京都グリーンケア協会 介護コース上級 講師(3月2日), 看護上級 講師(10

月27日, 12月8日, 2月2日)

## 14. 2017年度構成員

### センター長

神山 貴弥 (心理学部 教授)

### 副センター長

武藤 崇 (心理学部 教授)

### 指導相談員

佐藤 豪 (心理学部 教授)

杉若 弘子 (心理学部 教授)

興津真理子 (心理学部 教授)

石川 信一 (心理学部 教授)

藤岡 勲 (心理学部 准教授)

### 特任指導員

早樫 一男 (心理学部 嘱託講師)

菊田 和代

(実証に基づく心理・社会トリーatment  
研究センター 嘱託研究員)

### 相談員

梅澤友香里 (心理臨床センター)

堀江 幸代 (心理臨床センター)

### 相談研修員

茂本 由紀

(心理学研究科博士課程後期課程)

上西 祐輝

(心理学研究科博士課程後期課程)

荒井穂菜美

(心理学研究科博士課程後期課程)

橋本 光平

(心理学研究科博士課程後期課程)

伊藤 雅隆

(心理学研究科博士課程後期課程)

中西 陽

(心理学研究科博士課程後期課程)

岸田 広平

(心理学研究科博士課程後期課程)

阿部 望

(心理学研究科博士課程前期課程)

河田 江美

(心理学研究科博士課程前期課程)

中谷 結花

(心理学研究科博士課程前期課程)

西尾 悠佑

(心理学研究科博士課程前期課程)

四宮 愛香

(心理学研究科博士課程前期課程)

津田 菜摘

(心理学研究科博士課程前期課程)

乳原 彩香

(心理学研究科博士課程前期課程)

橋口 知輝

(心理学研究科博士課程前期課程)

金 逸蓉

(心理学研究科博士課程前期課程)

町田 菜穂

(心理学研究科博士課程前期課程)

徳田 弘之

(心理学研究科博士課程前期課程)

八谷 勇斗

(心理学研究科博士課程前期課程)

米澤 里奈

(心理学研究科博士課程前期課程)

肥田乃梨子

(心理学研究科博士課程前期課程修了生)

金山 裕望

(心理学研究科博士課程前期課程修了生)

大仲 陽子

(心理学研究科博士課程前期課程修了生)